



第二学年学年便り

ひたちなか市立大島中学校

第5号

令和3年9月1日（水）



夏休みが終了し、いよいよ前期もあと1ヶ月となりました。二年生の夏休みは、暑い中、熱中症に気を配りながら、技術の向上を目指して部活動に励む姿や、普段の学校生活では挑戦できない研究や作文など様々な課題に取り組む様子が見られました。

さて、ここから冬休みまでは、前期と後期の入れ替わりもあり、1年間の折り返し地点になります。学習内容が難しくなり、少しずつ行事や部活動の大会が増え、中学生らしい大変さを感じる時期になりますが、しっかりと生活と真剣な学習により学力や体力を高めていくことが大切です。まだまだ残暑が続きそうですが、学校生活のリズムを取り戻して、より有意義に過ごせるように支援していきます。ご家庭でもご協力をよろしくお願いいたします。新型コロナウイルス感染症の影響で今後の学校生活にも様々な影響があることが予想されますが、「今できることを精一杯に」心に残る活動を考え、学年スタッフ一同で取り組んでいきます。

9月の行事予定

1	水	分散登校	17	金	
2	木	オンライン授業（～10日）	18	土	東関東吹奏楽コンクール
3	金		19	日	
4	土		20	月	敬老の日
5	日		21	火	
6	月		22	水	市新人戦
7	火		23	木	秋分の日
8	水		24	金	市新人戦
9	木		25	土	
10	金	口座引落日	26	日	
11	土	第46回体育祭（中止）	27	月	常置委員会
12	日		28	火	
13	月	授業日（弁当持参）	29	水	
14	火		30	木	県新人陸上 私立高校説明会
15	水		・新型コロナウイルス等感染症の影響により、予定が変更になることがあります。		
16	木	市新人陸上			

総合的な学習の時間～ひたちなか検定をつくろう～

総合的な学習の時間でひたちなか市商工会議所と連携し、ひたちなか検定の問題作成をしました。この後、提出した問題をもとに、検定問題集が作られる予定です。テーマに沿って、市にまつわる様々なジャンルの問題を作成しました。子供たちがつくった問題の一部を紹介します。

問題	答え
ひたちなか市は西暦何年に発足したでしょう。	1994年
ひたちなか海浜鉄道の駅の数はいくつあるでしょう。	11駅
ひたちなか市にある虎塚古墳の古墳の種類は何でしょう。	前方後円墳
白亜紀層は何万年前の地層でしょう。	約600年前
ひたちなか市で一番多い名字は何でしょう。	大内さん
ひたちなか市の木・花・鳥は何でしょう。	いちょう、はまぎく、うぐいす

キャリア学習～「パン工房ぐるぐる」のエコバッグをデザインする～

例年、職場体験学習を行っている2年生ですが、昨年に引き続き、新型コロナウイルス等感染症の影響もふまえて学習活動の内容を変更しています。今年度も様々な事業所と連携して活動しながら、地域や将来の夢の実現について向き合っていくことを目的として学習を進めています。

今回、「パン工房ぐるぐる」と協力し、ひたちなか店10周年を記念したエコバッグのデザインを担当させていただきました。全ての生徒デザインを見ていただき、選考した結果、以下の2名のデザインに決定しました。秋の10周年感謝祭にて配付される予定です。



2組 大野朝陽さんのデザインです。
お店で取り扱っている様々なパンのイラストが描かれていて、10周年にふさわしいかわいらしさとぐるぐるらしさを表現できています。



3組 綾部真由佳さんのデザインです。
10周年やパンが描かれていないのに、建物を描くことでシンプルにぐるぐるらしさを表現していて使いやすいデザインになっています。

前期期末テストを振り返って

テスト前に毎日ワークを解いたり、ノートまとめをしたりして苦手なところを少しでも減らすことができたのがよかったなと思った。テストを解き終わったあと、見直しをあまりしなかったのが、今後は気をつけたいと思った。実力テストで今までよりも良い点数を取れるよう、ワークなどを特に頑張りたい。
(4組 水越 陽)

テストに向けて計画的にワークを3回ぐらい解くなどして進めていくことが出来た。前回の反省を生かして、ミスをなくすように、見直しをいつもよりしっかりした。時間配分を間違えてしまって見直しの時間があまりできなかったものもあるので次のテストに生かしていきたいと思った。
(2組 滝浪 叶翔)

今回のテストは、前回のテストの反省を生かしてワークを早めに終わらせたり先生が「ここテストに出るよ」などといったところをテスト2週間前より先に取り組んだりしました。中心的に取り組んだ科目は前回より手応えを感じられたものの、やはり勉強をされていて、苦手だなどと思ったところは、本番でもできませんでした。この反省を生かして、次回のテストは今回のテストをできるようにしてから本番に挑みたいと思いました。
(1組 高村 芽生)

ワークは期限までに余裕を持って出せた教科と出せなかった教科があったので、毎日コツコツ進められるようにする。問題用紙にも回答や斜線を書き、答えの間違いないようにした。夏休みは課題の焦りがなくなってしまうので、一日に進める量と目標を定めておく。暗記教科を確実にする。
(4組 佐藤 怜奈)

中間テストに比べて、個人的にわからないところや出来ない所を出来るようにしようと努力するようになった。自学では、苦手なところや、覚えておきたい単語などをやった。見直しをしたら、抜けているところや、わかってなかったところなどを思い出して書いたりなど、点数を上げることもできるので、やはり見直しはしたほうが良かった。夏休みには、課題や自主学習を通して、わからなかったことや間違ったところを復習していきたい。実力テストでは良い点数を取りたい。
(3組 菊池 悠斗)